



# 平成 28 年 5 月期 第 4 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 28 年 5 月 6 日

上場会社名 モジュール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3043 URL <http://www.modulat.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 松村 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務&経企責任者 (氏名) 小田 真理 (TEL) 03-3454-2061  
 四半期報告書提出予定日 平成 28 年 5 月 9 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 28 年 5 月期第 4 四半期の業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 5 月期第 4 四半期	1,682	—	187	—	165	—	144	—
27 年 3 月期	2,115	4.9	183	30.7	159	△26.6	103	4.8

※決算期変更に伴い、当事業年度は平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日までの 14 ヶ月決算となっております。このため、28 年 5 月期第 4 四半期の対前年同四半期増減率は記載を省略しております。

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28 年 5 月期第 4 四半期	111	87	109	51
27 年 3 月期	77	31	—	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 5 月期第 4 四半期	3,004	—	697	—	23.0	—
27 年 3 月期	3,162	—	469	—	14.7	—

(参考) 自己資本 28 年 5 月期第 4 四半期 692 百万円 27 年 3 月期 464 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
27 年 3 月期	—	0.00	—	—	20.00	20.00
28 年 5 月期	—	0.00	—	—	—	—
28 年 5 月期 (予想)	—	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成 27 年 6 月 18 日開催の定時株主総会において、決算期を 5 月末に変更いたしました。これにより、決算期変更の経過期間となる当事業年度は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日までの 14 ヶ月間となります。

## 3. 平成 28 年 5 月期の業績予想 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,900	—	200	—	180	—	150	—	117	87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成 27 年 6 月 18 日開催の定時株主総会において、決算期を 5 月末に変更いたしました。これにより、決算期変更の経過期間となる当事業年度は、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 5 月 31 日までの 14 ヶ月間となります。そのため、対前期増減率については記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期4Q	1,470,000株	27年3月期	1,370,000株
② 期末自己株式数	28年5月期4Q	97,500株	27年3月期	97,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期4Q	1,291,625株	27年3月期	1,337,677株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第4四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は決算期変更に伴い、当事業年度は平成27年4月1日から平成28年5月31日までの14か月の変則決算となっているため、前年同期比につきましては記載しておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第4四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善など緩やかな回復基調が続きましたが、消費者マインドの足踏みや海外経済の下振れによる影響などのリスクも抱えており、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような環境の中、継続的な事業の成長、企業価値の向上を堅実に目指し、「増収増益の実現」、「ビジネスモデルの拡大」、「メンバーの強化」などに取り組んでまいりました。

#### ・ITサービス売上

当社の本業である「継続的ITサービス」の売上は、ほぼ計画通りで順調に推移し、「一時的ITサービス」の売上は若干計画を上回り、堅調に推移しました。その結果、「ITサービス」全体の売上高は、1,272,288千円となりました。

#### ・商品売上

商品売上は、企業の設備投資は横ばいとなっており、低調な状況が続きました。その結果、410,228千円となりました。

当第4四半期累計期間の新規顧客獲得数は、26社（内、大手企業又はその子会社様が6社、ITサービスの契約があった顧客21社。）を獲得することが出来ました。新サービス「じどうパソコン」は、既存のお客様からの提案要求、新規のお客様からのお問い合わせなど多数頂戴し、案件獲得に向けた積極的な提案活動を続けております。

費用面では、効率性向上の推進と適正なコスト構造を迫及することで販管費等の費用増加が抑制されております。また、第3四半期会計期間に実施した貸付債権の譲渡により、税務上は否認されていた貸倒引当金が損金として認容され税負担額が軽減しております。

以上により、当第4四半期累計期間の業績は、売上高1,682,516千円、営業利益187,447千円、経常利益165,809千円、四半期純利益144,488千円となりました。

なお、当社の事業はITアウトソース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (財政状態の分析)

当第4四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ158,620千円減少し、3,004,015千円となりました。

これは、現金及び預金やソフトウェア仮勘定の増加等があったものの、預け金や売掛金の減少等があったことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ386,977千円減少し、2,306,044千円となりました。これは、買掛金の減少及び返済による短期借入金、長期借入金の減少等によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ228,356千円増加し697,971千円となりました。新株式発行による資本金及び資本準備金の増加、四半期純利益の計上によるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末と比較して8.3ポイント増加し、23.0%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第4四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は705,031千円となり、前事業年度末と比較して、54,840千円の減少となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、450,622千円となりました。これは主に、前渡金の増加額79,900千円、仕入債務の減少額102,750千円等があったものの、税引前四半期純利益137,589千円、減価償却費144,535千円、売上債権の減少額272,166千円、前払費用の減少額26,252千円等があったことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、247,131千円となりました。これは主に貸付金の回収による収入9,000千円等があったものの、有形固定資産の取得による支出46,109千円、無形固定資産の取得による支出201,126千円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、258,331千円となりました。これは主に、長期借入れによる収入100,000千円、株式の発行による収入100,000千円等があったものの、短期借入金の純増減額150,000千円の減少、長期借入金の返済による支出284,324千円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想数値につきましては、平成27年10月21日公表時から変更しておりません。

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。また、変更があった場合には速やかに開示を行います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第4四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	539,871	785,031
売掛金	520,288	248,121
リース投資資産	86,651	83,673
商品	12,653	30,210
仕掛品	680	4,247
預け金	300,000	—
その他	98,270	140,248
貸倒引当金	△6,456	△4,453
流動資産合計	1,551,959	1,287,080
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	226,106	151,190
建設仮勘定	110,496	151,298
その他(純額)	10,990	11,105
有形固定資産合計	347,593	313,593
無形固定資産		
ソフトウェア	8,835	6,447
賃貸用資産	134,262	71,978
ソフトウェア仮勘定	862,930	1,058,530
無形固定資産	1,006,028	1,136,956
投資その他の資産		
投資有価証券	158,535	176,411
長期貸付金	157,337	—
その他	98,519	89,973
貸倒引当金	△157,337	—
投資その他の資産合計	257,054	266,385
固定資産合計	1,610,677	1,716,935
資産合計	3,162,636	3,004,015
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	270,067	167,317
短期借入金	250,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	277,660	259,552
未払法人税等	16,829	67
前受金	411,836	422,199
賞与引当金	—	15,657
その他	65,688	103,544
流動負債合計	1,292,081	1,068,337
固定負債		
長期借入金	1,384,482	1,218,266
その他	16,458	19,441
固定負債合計	1,400,940	1,237,707
負債合計	2,693,021	2,306,044

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第4四半期会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,219	304,219
資本剰余金	31,558	81,558
利益剰余金	246,121	365,160
自己株式	△93,990	△93,990
株主資本合計	437,910	656,949
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,053	35,112
評価・換算差額等合計	27,053	35,112
新株予約権	4,650	5,909
純資産合計	469,614	697,971
負債純資産合計	3,162,636	3,004,015

(2) 四半期損益計算書  
(第4四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第4四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,682,516
売上原価	1,170,343
売上総利益	512,173
販売費及び一般管理費	324,725
営業利益	187,447
営業外収益	
受取利息	3,066
受取手数料	3,840
その他	2,617
営業外収益合計	9,523
営業外費用	
支払利息	18,168
デリバティブ評価損	7,712
その他	5,281
営業外費用合計	31,162
経常利益	165,809
特別利益	
新株予約権戻入益	80
特別利益合計	80
特別損失	
障害対応損失	28,300
特別損失合計	28,300
税引前四半期純利益	137,589
法人税、住民税及び事業税	3,993
法人税等調整額	△10,892
法人税等合計	△6,898
四半期純利益	144,488

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	当第4四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	137,589
減価償却費	144,535
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,003
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,657
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△3,935
前渡金の増減額(△は増加)	△79,900
受取利息及び受取配当金	△3,531
支払利息	18,168
固定資産除売却損益(△は益)	212
売上債権の増減額(△は増加)	272,166
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,124
前払費用の増減額(△は増加)	26,252
未収消費税等の増減額(△は増加)	26,163
仕入債務の増減額(△は減少)	△102,750
未払金の増減額(△は減少)	704
前受金の増減額(△は減少)	10,362
未払消費税等の増減額(△は減少)	37,860
その他	11,654
小計	488,083
利息及び配当金の受取額	3,528
利息の支払額	△9,293
法人税等の支払額	△31,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	450,622
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△46,109
無形固定資産の取得による支出	△201,126
投資有価証券の取得による支出	△7,076
貸付金の回収による収入	9,000
敷金及び保証金の差入による支出	△70
保険積立金の積立による支出	△1,849
その他	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,131
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△284,324
株式の発行による収入	100,000
新株予約権の発行による収入	1,340
配当金の支払額	△25,347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,331
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△54,840
現金及び現金同等物の期首残高	759,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	705,031

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年1月22日付で、Oakキャピタル株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第4四半期累計期間において資本金が50,000千円、資本準備金が50,000千円増加し、当第4四半期会計期間末において資本金が304,219千円、資本準備金が81,558千円となっております。